

本市と福岡県は連携して、バイオ関連産業の一大集積を目指す「福岡県バイオバレープロジェクト」を推進している。これまでの取り組みにより、産学官連携の基盤、ベンチャー企業の集積、がん・核酸医薬など世界的レベルの研究開発進展など、新産業やグローバル産業を創出する基盤が整いつつある。これらの地域の強みと国際的な研究機関の機能を融合(連携)することで、最先端の研究開発を推進(加速)し、地域優位性を活かした新しい治療法や新薬の開発及び製品の開発等が進むことが期待され、地域の産業振興及び雇用の創出、さらには我が国の創薬・医療産業等の競争力強化にも繋がる。

理化学研究所(創薬・医薬ユニット機能)の誘致



- ◆統合生命医科学研究センター【横浜】
疾患多様性医科学研究部門
※地域の蓄積してきた資源と連携・融合することで、最先端の研究開発・事業化を促進する。

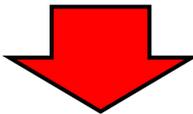


地域の強み・資源

- ◆福岡県バイオバレープロジェクトの成果
○産学官連携基盤、がんワクチンや核酸医薬など国際的レベルの研究開発の進展、バイオベンチャー企業の集積など
- ◆地域のアカデミア等
○久留米大学医学部、九州大学医学部、生物食品研究所など
- ◆事業化を支える連携企業群
○創薬・医薬・食品等の関連企業群など



拠点がない九州(福岡)に最先端のサテライト機能を移設し、地域資源と連携・融合することで、事業化を実現することは、政府系研究機関としての機能強化に繋がり大きな意義がある。



期待される効果(経済波及効果・雇用)

地域アカデミアや産業界と連携・協力しながら、これまでプロジェクトで培った先端技術等を活用して、革新的治療法・治療薬の研究開発及び、バイオ関連分野の製品化・事業化が促進されるとともに、プロジェクトの拡大・拡充が見込まれる。地域発の最先端の研究開発が医療の発展および食品や医療をはじめとした関連産業と地域社会の発展に大きく寄与することが期待される。

移転候補地の概要

(株)久留米リサーチ・パーク(研究棟)

